

晃の園だより

尊厳を守り、ゆとりある生活を共に生きる



入居者の娘様からの「お母さんと出かけたい！」という思いを受け、日本平動物園へ行ってきました。

動物たちの姿を見て、素直に無邪気に喜ぶ入居者様。その様子に笑顔になるご家族様。仕事を忘れて一緒に童心に帰る職員たち。『動物園って、高齢者にはどうなんだろう？ちょっと子供むけなのでは？』という先入観も正直言っていました。でも、そんな思い込みも吹き飛ばしてくれる素晴らしい体験になりました。

もしかしたら、私たちの中にある思い込みや先入観のかけには色々な可能性が隠れているのかもしれない…。そんなことにも気づかせてくれた今回の外出でした。



普段の生活の中で

特別なイベントでない普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者様の笑顔こそがとても大事なものに思えます。



『履き心地はどうか？』入居者様が相談員さんに手伝ってもらって、新しい靴を試していました。『(入居者様は) これがいいって言うのだけど...少し大きすぎるし、足の形も考えるとこっちの方が...』相談員さんも大いに悩んでいました。



夏の植物といえば、やっぱり朝顔とゴーヤ。というわけでプランターと土、苗を買ってきました。人生の大先輩に指示を受けながらの植え付け作業は無事完了。世話をする楽しみが増えました。



お二人で昔のお話を楽しそうにされていました。2人とも笑顔が素敵です。何気ない日常の中で、さりげなく素敵な時間を創りだすお手伝いが出来れば嬉しいと思います。



炎天下でバルコニーに日陰を作るため、すだれを設置してくれている管理人さん。そんな姿をずっと眺めていた入居者様は「頑張れー頑張れー!!」とこぶしを突き上げてエールを送っていました。



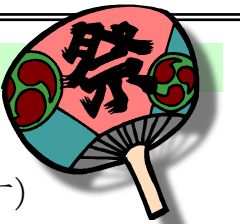
入居者様が実習生と一緒に塗り絵に取り組んでいました。とても真剣な表情で鉛筆を運び、また色を選ぶにもこだわりが見られました。『真剣だからこそ楽し』ですね。



ユニットに大きな笑い声が響きました。びっくりして声の元へ行ってみると…。どうやら実習生さんとのおしゃべりが盛り上がったようです。笑う門には福来る。うちのユニットに福来る。

行事日程のお知らせ

- 夏祭り 平成 23 年 8 月 27 日 (土) 15 時開始
- 敬老会 平成 23 年 9 月 19 日 (月) (詳細は別途お知らせします)



ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページの掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、ぜひご覧ください。ホームページ <http://www.surugakai.net/hikari/>



夏の定番、流しそうめん

涼を求めて、今年も沢山流しました



すっかり夏の定番となった流しそうめんイベントが、今年も各棟で開催されました。何時になく早い梅雨明けのお陰もあって、ほぼ晴天に恵まれた今年の流しそうめんイベント。時折かかる水しぶきも気にならないほどの暑さの中。今年も元気に沢山食べて、楽しんでいただきました。

次から次へと流れるそうめん。ついつい目で追うだけで逃してしまう方。箸を置いて待ち構えている方。色々な方がいましたが、みなさん笑顔・笑顔で職員は一安心です。風が吹くととても心地よく、「あ、ほらきた!」「早く早く!」と、職員のほうが大騒ぎです。ビール片手に楽しまれた入居者様。「海の家のようで最高だな」と笑顔。職員にとって最高のねぎらいでした。

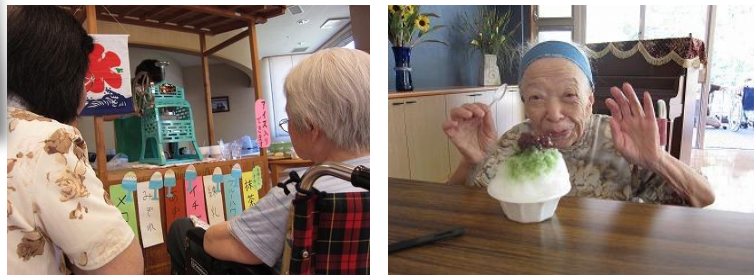


例年と同じく、管理人さんが今年の夏のためだけに作成してくれた竹の桶は、各棟を順番に旅しました。清響2階から始まって⇒新樹⇒樺⇒清響1階そして最後はデイサービス。各棟各場所で、それぞれ個性が出た流しそうめんイベントの全てをきちんと見守って、今年の桶も無事役目を終えました。

懐かしの雰囲気がかき氷登場!



清響棟で実施した流しそうめんではかき氷も楽しんでいただきました。新しく購入したかき氷機はレトロな雰囲気満点で、氷を削る音や様子も存分に楽しんでいただけたと思います。



大好きなものに囲まれて 至福の時間

入居者様と一緒に、アピタへお買い物に行って来ました。お目当ては夏物サンダルでしたが、一番時間をかけたのがこちらの本屋さん。本が大好きな入居者様は、じっくり読み比べて選んでいました。普段本を読まなくて、選び方もよくわからない私に、入居者様は「最初の目次を見るといいんだよ」と選び方の極意をそっと教えてくださいました。



大好きな本に囲まれて、心の中が幸せいっぱいになったその後は、やっぱりお腹の幸せを満たしたくなりました。大好きな甘いおやつをお腹に収めて、大満足、笑顔いっぱいのお出かけでした。



ひと味違う喫茶店 その狙いは…

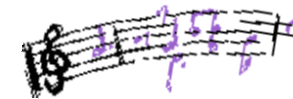
先日、栄養士さんの企画でちょっと目新しい喫茶店が一日だけオープンしました。しつらえやテーブルの配置にも気を使い、メニューはとびきり本気で作りこまれています。でもこのお店で一番楽しんでもらいたいものは実は他にあったのです。それは『お喋り』。普段はなかなかゆっくりと取れない職員との会話の時間を、今日はゆっくりと楽しんでもらおうというのが狙いです。

いつもは公平を意識している時間を、この日はちょっとだけ不公平に使わせていただいたというお話でした。



夏のコンサート開催

音楽療法の講師の方が、友人の方と一緒にコンサートを開いてくれました。今回はピアノとフルートの構成で、クラシックや唱歌などを演奏してくださいました。綺麗な衣装に身をまとったお二人が演奏を始めると、雰囲気はすっかり本格的なコンサート。綺麗な旋律に包まれた素敵な時間となりました。



途中からは、入居者様にも楽器を手に演奏に参加していただいたり、歌っていただいたりしました。聴くだけで始まったコンサートは、いつのまにか、一緒に作り上げるコンサートになっていました。



モデルユニットでの、リフトの利用が始まりました

平成23年7月6日、この日はちょっとした記念日となりました。モデルユニットでのリフトの使用がよいよ始まったのです。居室と浴室、それぞれの場所で専用のリフトを使い筋力に頼らない移乗介助の実現です。

限られた入居者様のみを対象としたスタートですが、職員の表情は明るく、順調な滑り出しだといえそうです。そう出来た理由が、事前に練習を重ねたことにあることは間違いなさそうです。勿論、まだ使い始めたばかりなので戸惑いや不安があるのも否めませんが、これから使いこんでいくことで解決していきたいと思います。

今後も他職種で連携を取りながら出てくる課題にその都度対応し続けることで、徐々にスキルを高めていきたいと思っています。



家でずっとやってきた ことだから、毎日やっていた ことだから、体に一番馴染んでいる ことだから、そして何の不安もなく出来る ことだから…

